

梅雨に入り、雨の日が多くなりました。地球の反対側ブラジルで開催されているサッカー・ワールドカップ観戦で睡眠不足の方も多いのでは…。
現在会員登録数 1,464 人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は 7 月 23 日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》 YO! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 46

《3》 サイト紹介 -子どもの本をリサーチする-

《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 当財団の出版物を販売しています。

当財団発行の図録・論文集・研究紀要等を販売しています。

・ 2013 年度国際交流事業報告集 2014 年 5 月発行 1080 円 (税込)

国際講演会「絵本作家ローレン・チャイルド自作を語る-あたしのなやみは無限大」& 子ども向けワークショップ「絵本作家ローレン・チャイルドさんと絵本をつくろう！」

・ 大阪国際児童文学振興財団 研究紀要第 27 号

2014 年 3 月発行 1512 円 (税込)

お申し込み、詳細は ↓

http://www.iiclo.or.jp/06_res-pub/05_publication/index.html

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》 YO! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『メランコリー・サガ』 <モールランド・ストーリー> ひこ・田中/作

あらすじ：大都会に住む小学5年生のコトノハ（女子）は、学校ではどのグループにも属さない男子の700とパルと一緒にいる。ある日、パルが父親から「メランコリー・サガ」という中古のゲームソフトをもらったと言う。3人はハードを手に入れ、ゲームを途中からプレイすると、主人公に3人の名前が使われており、ゲームをクリアする過程に友情に対するパルの父のメッセージが込められていた。

○：この作品を読むには年を取りすぎたかな。コトノハたち3人組は平成版ズッコケ三人組とっていいかしら？

Y：3人が力を合わせて、パルがもらったソフトの意味を見つけるという筋立てとしては共通点があると思います。700がちょっとハカセっぽくて、コトノハがハチベエ、パルがモーちゃんと考えたら、それぞれの家庭環境の差、友だち関係の距離の取り方などが1970年代後半と今の違いということになるのでしょうか。

○：二つ目はパルのキャラクターです。「オレ」と言っているかと思うと「〇〇なの」といったりして、わかりづらかったのですが。

Y：パルは学校外では髪の毛をいろいろな色のゴムで結んでいるという外見からも、自分のジェンダーについて不安定に感じているのではないかと思いました。地縁血縁関係が希薄な中で、子どもたちがいかに人との関係を作っていくのかが一つのテーマになっていると思います。

○：私自身が大都会のど真ん中で育ち、今も生活しているので、この設定に興味を持ったのですが、街の匂いや生活感が薄いですね。

Y：町の描かれ方がゲームの中にいるような感じがし、それが登場人物の町のとらえ方のようにも思いました。そのような登場人物の一人であるパルの家族の描かれ方が私には興味深かったです。それは、パルの父親が中古のゲームソフトをプレイさせることでしか、息子に友情を語れなかったということでした。その父親は学生時代友だちがおらず、パルの友だちの話を空想の友だちだと勝手に解釈していたという謎解きは、大人も子どももうまくコミュニケーションがとれない現代の社会を象徴していると思いました。そんな中で「コトノハ」と名付けられた主人公がいかに言葉と向き合うのか、今後のシリーズ展開が楽しみです。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 46

その8 おはなし会の実際（4）終わり方

おはなし会の終わり方で最も重要なことは、参加した子どもたちが「あーおもしろかった」と感じる終わり方であることです。

「あーおもしろかった」というのは、一つには、そこで体験したおはなしや絵本などを後で思い出して心の中で楽しむことができる状況であることです。そのためには、絵本やおはなしを語った後に、例えばクイズ大会などをして盛り上がってしまったり、それまでに読んだり語ったりしたおはなしが忘れられてしまうような終わり方は望ましくありません。また、子どもたちに感想を聞いたり、語り手や読み手の感想を述べたりしておはなし会を長引かせることも避けるべきでしょう。

おはなし会の終わりに歌を歌って終わるグループがありますが、その歌があまりに盛り上がり過ぎると、これまでのおはなしの余韻が消えてしまうことがあります。歌を歌うときには、「終わり」がイメージできる歌がよいでしょう。

また、おはなし会の終わりには、もう一度体験したいという子どものために、読んだ絵本を手にとることができ、借りられるように用意しておくことが必要です。加えておはなし会と同じテーマの本を用意して、子どもたちが、おはなし会から本の世界を広げる手助けをすることもできます。

始めの挨拶が大切であると同様に、「これで今日の『どうぶつ』のおはなし会を終わります」のように、テーマを再確認し、はっきりと終わりを宣言することも重要です。学校などで、先生が子どもたちにおはなし会が終わった直後に「ありがとうございました」と言わせるところもありますが、子どもが余韻に浸っているのを邪魔していると感じるときもあります。事前に、少し時間を空けてから挨拶をしてもらうように伝えるのも一つの方法です。そして、私は、終了時には、子どもたちの表情からおはなし会をどのように感じていたか読み取るようにしています。

*次号は「その9 おはなしを語る(1) おはなしの魅力」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。(Y)

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

一次資料データベース篇 26 回目。ご紹介するのは以下のサイトです。

●大阪府立中央図書館 国際児童文学館 街頭紙芝居

<http://www.library.pref.osaka.jp/central/kamishibai/index.html>

同館が所蔵する街頭紙芝居約 4,000 巻(160 タイトル)をデジタル画像化したサイトです。街頭紙芝居は、大量複製された印刷紙芝居(規格品)とは異なり、画家が一点一点手描きで仕上げ、かつて街角で盛んに演じられたメディアです。昭和初期に人気を博し、いったんは衰えますが、終戦後に再びブームとなりました。水木しげるや白土三平ら、のちに貸本マンガにうつるマンガ家たちが紙芝居画家として糊口をしのいだこともよく知られています。

ところで、同館の街頭紙芝居は、戦後大阪で紙芝居の絵元として活動し、夥しい作品を世に送り出した三邑会(紙芝居師団体)から寄贈されたものです。三邑会を設立した故・塩崎源一郎氏は、明治 45 年に長野県須坂市に生まれ、17 歳で単身上京、その後紙芝居の世界に入り、自ら紙芝居師としても活動した人です。昭和 14 年に大阪市西成区へ。ここで本格的に紙芝居を制作・貸し出す団体(三邑会)を作り、画家や演者など、後進の育成に生涯を捧げました。手塚治虫との共作(『新宝島』)で有名なアニメーター・左久良五郎(酒井七馬)などが三邑会に出入りし、作品を描いていたといえます。

サイトでは、タイトルおよび著者の一覧からすべての画像を閲覧することができます(ただし画の面のサムネイルのみ)。大阪は 1984 年まで紙芝居免許

制度が残っており、その文化が全国でも長く受け継がれた地域。「海の鷹シーホーク」「鞍馬小天狗」「女忍者」「怪天鬼」などなど、街頭で子どもたちを釘付けにした豊富なラインナップをぜひごらんください。(J)
※次号は、一次資料データベース篇〈その27〉の予定です。

《4》 行って来ました！

大丸心齋橋店で開催されている「アンパンマンとやなせたかし展」に行ってきました。

会場内はコーナーのあちこちで音楽が流れていて、楽しくにぎやかな雰囲気です。トンネルがある仕切りの壁や、円柱型の絵をくるくる回して見る絵本や、手をかざすと木の葉の間からキャラクターの映像が現れる木、大きな立体のアンパンマンなど、小さな子どもも楽しめるようになっていて、写真撮影も自由です。

前半はアンパンマンについての展示です。冒頭では、アクリルで描かれたタブローや、映画ポスターの原画などが展示されていて、アンパンマンの世界に引き込まれます。続いてアニメに登場するキャラクターの絵が、紹介つきで肖像画のようにずらりと並べられています。キャラクター数はギネスに認定されていて、約2000もあるそうです。ほとんどが食べ物にちなんだもののがおもしろいです。設定のためのメモがついた直筆スケッチもあり、キャラクターへの愛情を感じます。

アンパンマンの歴史も解説されています。アンパンマンは、やなせさんの戦争体験から生まれたヒーローで、「悪を倒すヒーロー」ではなく、「弱い人、困っている人を助けるヒーロー」です。1969年の登場時は大人向けに書かれた作品で、戦場の空を飛び、空腹の人にパンを届けるおじさんだったそうですが、空腹の人に頭をかじらせるアンパンマンの絵本になりました。

後半はやなせさんのさまざまな仕事を紹介されています。新聞や雑誌に掲載された4コマ漫画、30年続いた雑誌「詩とメルヘン」の表紙画、カップルが描かれた「デュエット画」、絵本『やさしいライオン』や『さよならジャンボ』の原画、「手のひらを太陽に」など手書き文字の詩や、イラストにつけられた詩、ご当地キャラクターなどのデザインなど、それぞれが見ごたえたっぷりです。やなせさんは昨年94歳で亡くなるまで、絵や詩などによっていろいろな人を勇気づけたり元気づけた人だったのだなあと感じました。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 児童文学講演会

「一冊の本ができるまで『パンプキン！ 模擬原爆の夏』をめぐって」

講 師： 令丈ヒロ子（児童書作家）

聞き手： 畠山 兆子（梅花女子大学教授）

日 時： 7月13日（日）午後1時30分～

場 所： ドーンセンター 大会議室（大阪府中央区大手前）

参加費： 有料 申込み： 必要

主 催：大阪国際児童文学館を育てる会

共 催：大阪国際児童文学振興財団 後 援：大阪府子ども文庫連絡会

● 夏休み文楽特別公演 親子劇場

演 目：「かみなり太鼓」、「西遊記」、解説「ぶんらくってなあに」

公演日：7月19日(土)～8月4日(月) 各日午前11時～午後1時10分

場 所：国立文楽劇場（大阪市中央区日本橋）

観劇料：有料 申込み：必要

問合せ：国立文楽劇場

● 第10回 大阪こども「本の帯創作コンクール」

本を読んで、その本の面白さが他の方に伝わるような帯を作成してください。

優秀作品は実際の帯として製品化、本につけられ書店に並びます。

対 象：小学生、特別支援学校小学部および準ずる学校の児童

部 門：課題図書部門 低学年の部／中学年の部／高学年の部

自由図書部門 小学生全学年

応募締切：平成26年9月10日 消印有効

主 催：大阪読書推進会 / 朝日新聞大阪本社

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『メランコリー・サガ』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.46プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。締切は7月10日(木)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

勝てないなあー！午前中の仕事を休んで、テレビの前に陣取ったサッカー・日本対ギリシャ戦、結果は引き分けに終わった。それでも予選リーグ突破にわずかな望みはつないだ。次は、その‘わずか’に日本の夢をかけて25日朝5時コロンビア戦だ。かくして睡眠不足は続く……。 (A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメルマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
